



理研ビタミン株式会社

証券コード：4526

2024年度 第2四半期（中間期）決算説明会

2024年11月25日

1. 2024年度 第2四半期（中間期）業績

2. 2024年度 業績見通し

- 売上高は5.7%増の**471億円**
営業利益は0.7%増の**46億円**
※為替影響を除くと売上高は3.9%増、営業利益は1.4%減
- 国内食品事業および海外事業は増収も、コスト増により減益
- 国内化成品その他事業は販売数量増加により増収増益

前年より利益率は低下も、業績予想を上回る着地

単位：百万円

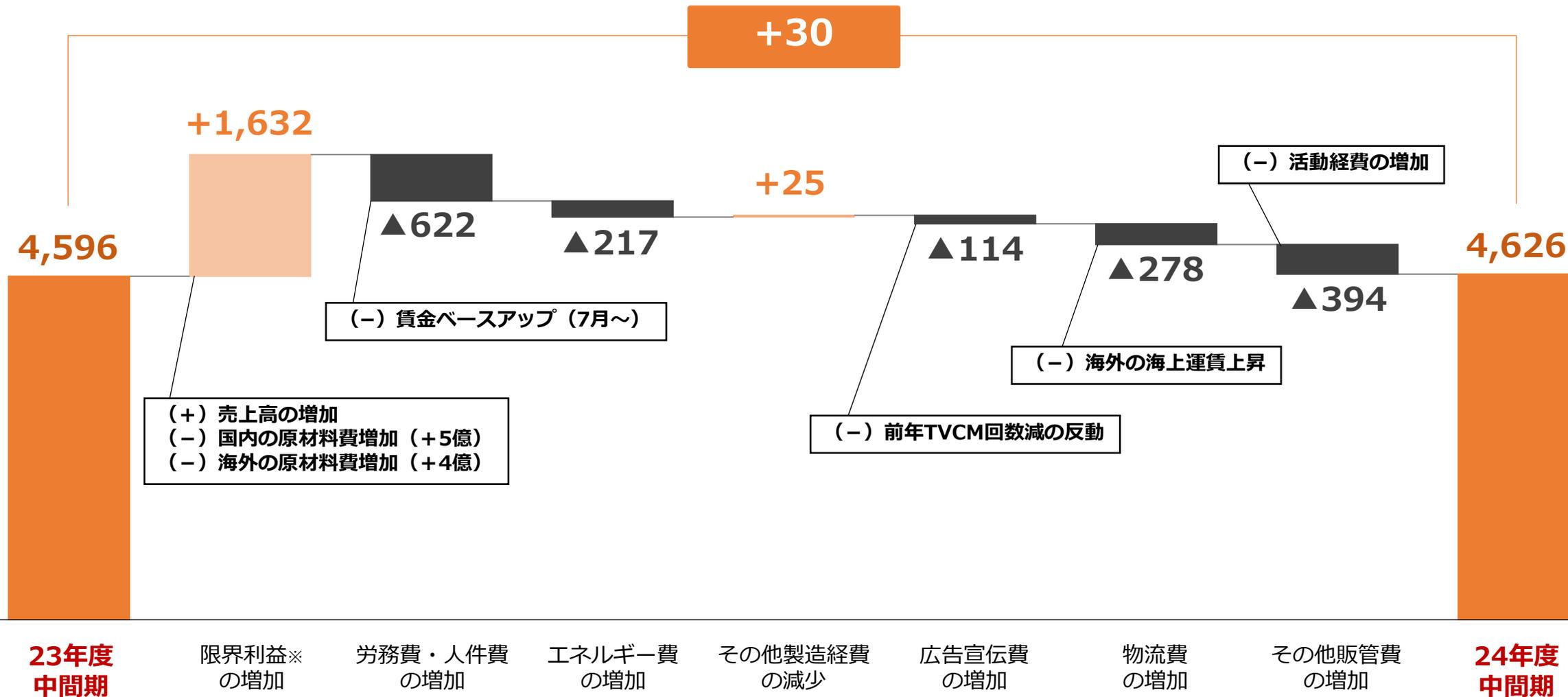
	2023年度 中間期	2024年度 中間期	前年同期比		業績予想	業績予想比 増減額
			増減額	増減率		
売上高	44,613	47,149	+2,536	+5.7%	45,500	+1,649
営業利益	4,596	4,626	+30	+0.7%	4,000	+626
営業利益率	10.3%	9.8%	▲0.5pt		8.8%	+1.0pt
経常利益	5,220	4,786	▲433	▲8.3%	4,300	+486
親会社株主に帰属する 中間純利益	3,667	3,255	▲411	▲11.2%	3,300	▲44

為替影響額：売上高+776百万円、**営業利益+96百万円** **為替影響を除くと営業利益は▲66百万円**

期中平均レート：2023年度2Q 142円/\$、2024年度2Q 152円/\$

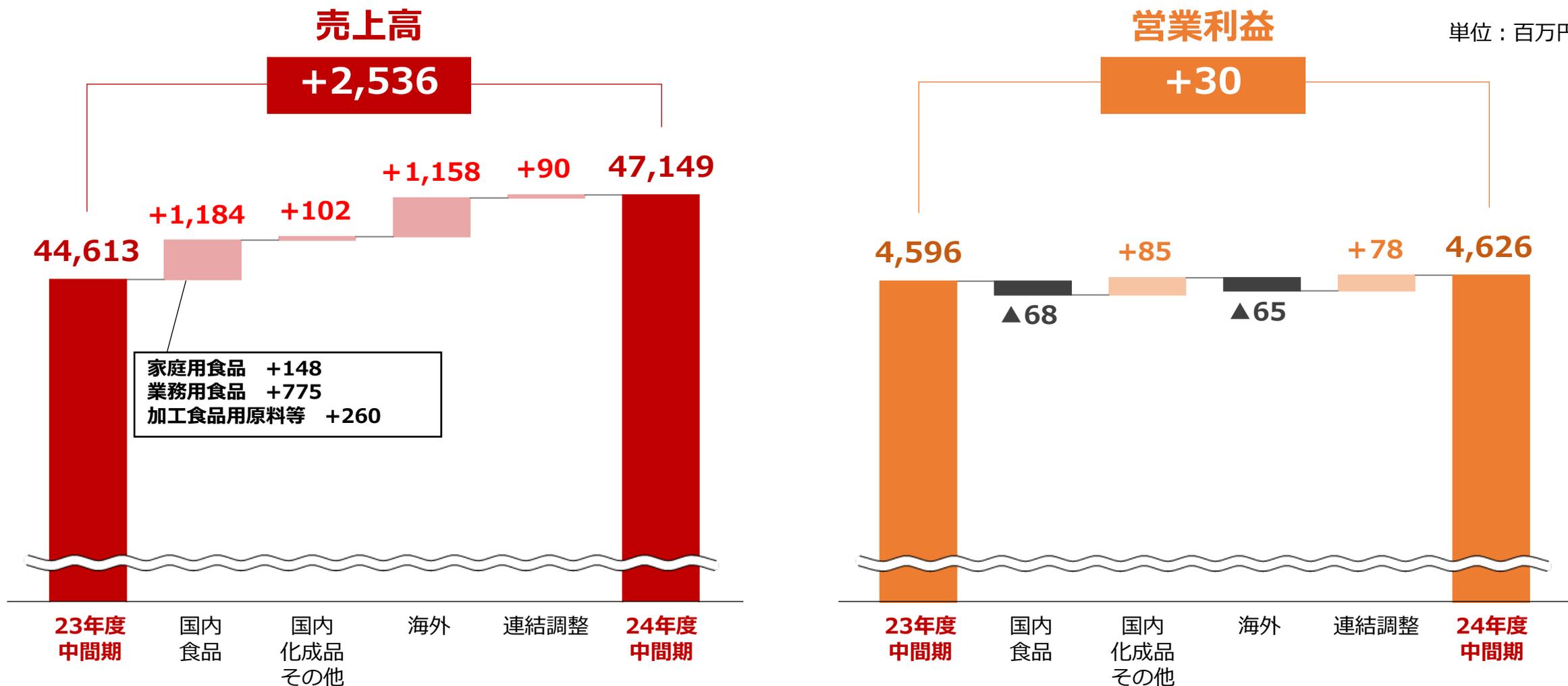
営業利益の増減要因

単位：百万円



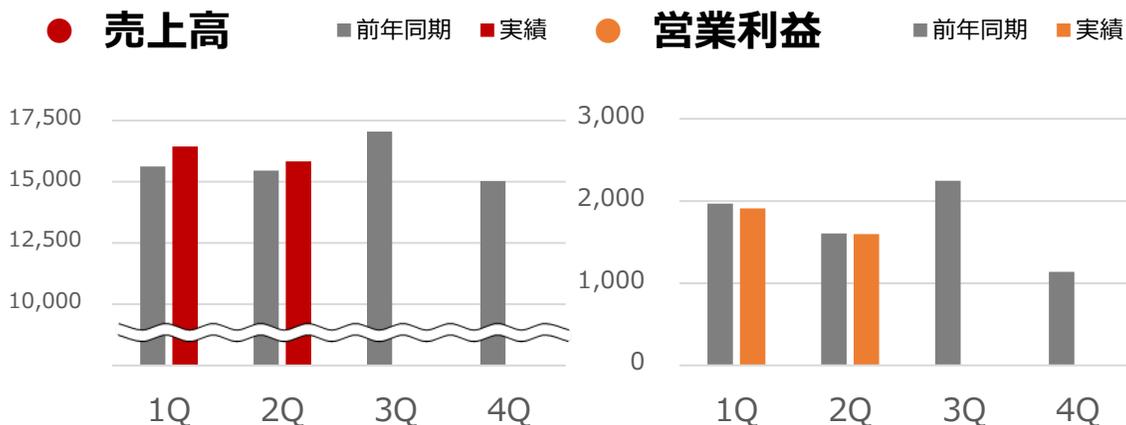
※売上高 - 原材料費

全セグメントで増収も、増益は国内化成品のみ



国内食品事業

単位：百万円	2023年度2Q	2024年度2Q
売上高	31,082	32,267 ↗
営業利益	3,575	3,506 ↘



- 家庭用食品は新商品やだしの素が貢献
- 業務用食品は外食・中食向けともに伸長
- 加工食品用原料等は食品用改良剤の需要が堅調ヘルスケア分野は足踏み
- 人件費、物流費、広告宣伝費などが増加

家庭用食品

単位：百万円	2023年度2Q	2024年度2Q
売上高	6,606	6,754 ↗

【主要ブランド別概況】

リケンのノンオイル



金額：減少
数量：減少

主力の青じそは健闘も他が苦戦

ふえるわかめちゃん



金額：微増
数量：減少

価格改定前に駆け込み需要あり

わかめスープ



金額：減少
数量：減少

2月の価格改定以降苦戦が続く

オイル入りドレッシング



昨年新商品がヒット
24年8月の新商品も初動は好調

ふりかけるザクザクわかめ



金額：増加
数量：増加

味種追加も寄与し販売伸長

素材力だし



金額：増加
数量：増加

TVCM効果もあり認知拡大

業務用食品

単位：百万円	2023年度2Q	2024年度2Q
売上高	10,639	11,415 ↗

【販売先業態別概況】

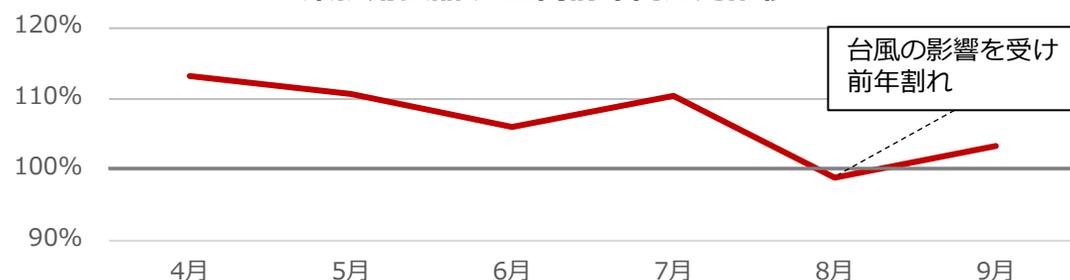
● 外食・給食向け

期初の想定よりも需要は堅調に推移
スポット品を含む大手チェーン向けの新規採用も貢献

● 中食業界向け

CVS向けは国産わかめの価格高騰の影響もあり
わずかに前年同期を下回る
各種惣菜や即席めん向けの調味料、改良剤が伸長

業務用食品 売上高前年同月比推移



加工食品用原料等

単位：百万円	2023年度2Q	2024年度2Q
売上高	13,837	14,098 ↗

【製品群別概況】

● 食品用改良剤

主力の製パン業界向けをはじめ
需要は堅調に推移
品目構成を見直し、利益率が改善



● ビタミン

栄養強化用途は前年の反動減



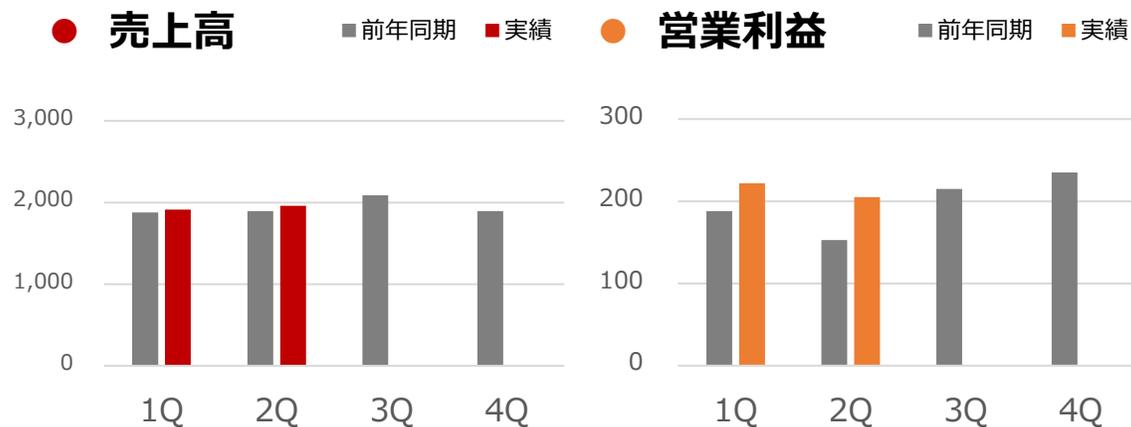
● その他ヘルスケア商品

クロセチンの販売が好調
他社での品質問題を受け、健康食品市場全体の成長には陰り



国内化成品その他事業

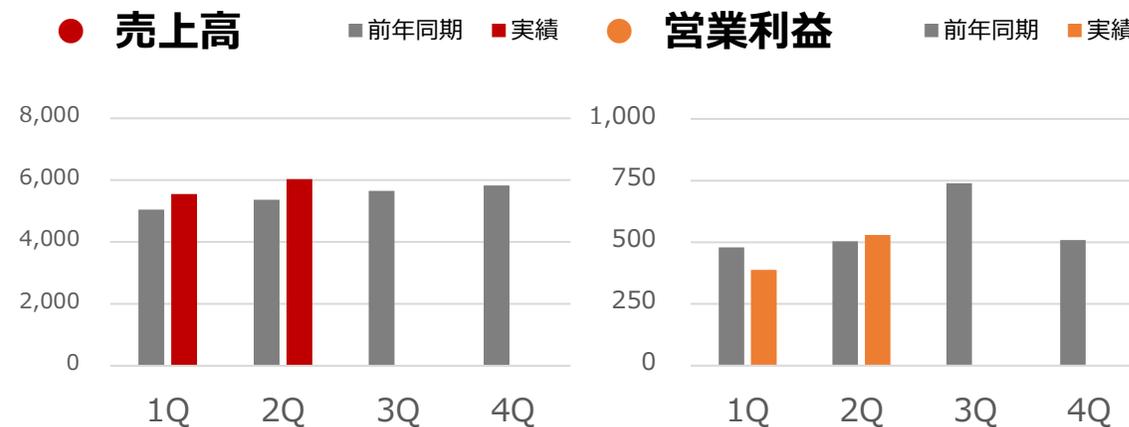
単位：百万円	2023年度2Q	2024年度2Q
売上高	3,771	3,874 ↗
営業利益	342	427 ↗



- 売上高・販売数量とも前年を上回る
- 食品包装ラップ向けが伸長。自動車業界向けや建材向けは需要回復が鈍く数量ダウン
- 工場稼働率低迷の課題は残るが、適正価格の維持により利益率は改善

海外事業

単位：百万円	2023年度2Q	2024年度2Q
売上高	10,423	11,582 ↗
営業利益	984	918 ↘



- 販売数量を意識した戦略が奏功し、台湾を除いた地域で販売数量が増加
- 販売単価の引き下げや人件費、物流費の増加により利益率は低下
- 欧米向けの海上物流は混乱が続く

為替差損や退職給付制度の改定が影響

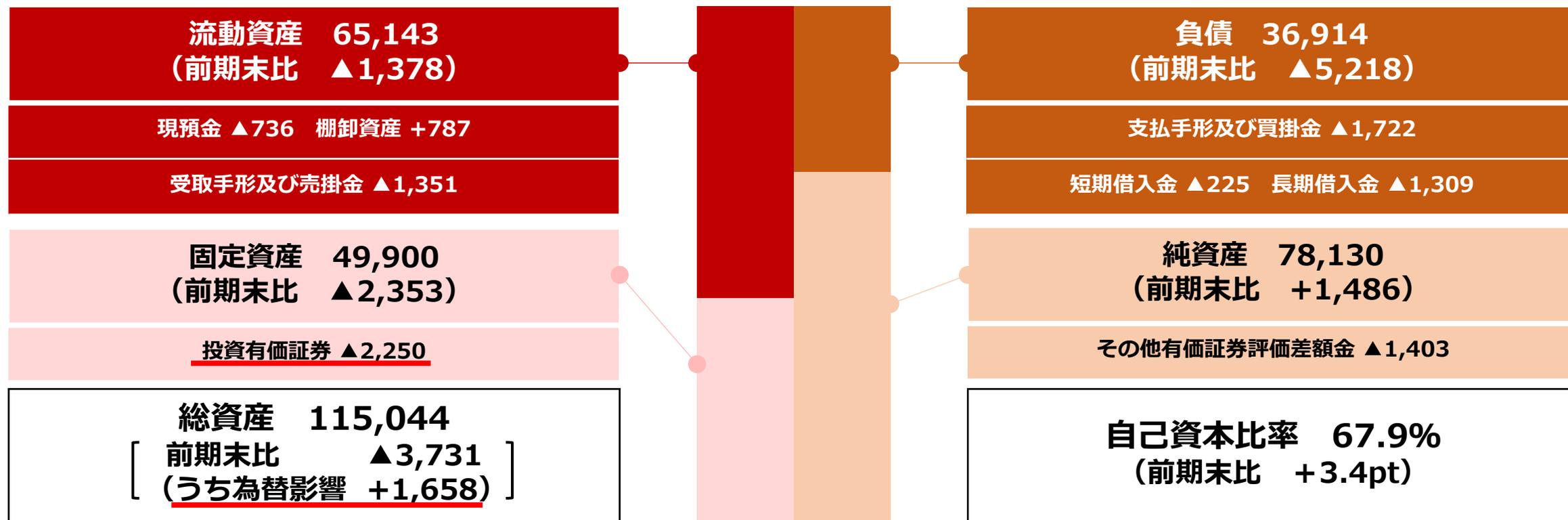
単位：百万円

	2023年度 中間期	2024年度 中間期	前年同期比	主な増減要因（前年同期比）
営業利益	4,596	4,626	+30	
営業外収益	724	642	▲82	
営業外費用	99	481	+382	<u>為替差損（+396）</u>
経常利益	5,220	4,786	▲433	
特別利益	78	681	+603	投資有価証券売却益（+552）
特別損失	118	961	+842	<u>退職給付制度改定損（+680）</u>
税引前利益	5,181	4,507	▲673	
法人税等	1,511	1,250	▲261	
非支配株主に帰属する 中間純利益	2	2	▲0	
親会社株主に帰属する 中間純利益	3,667	3,255	▲411	

為替影響を除くと総資産は実質53億円減少

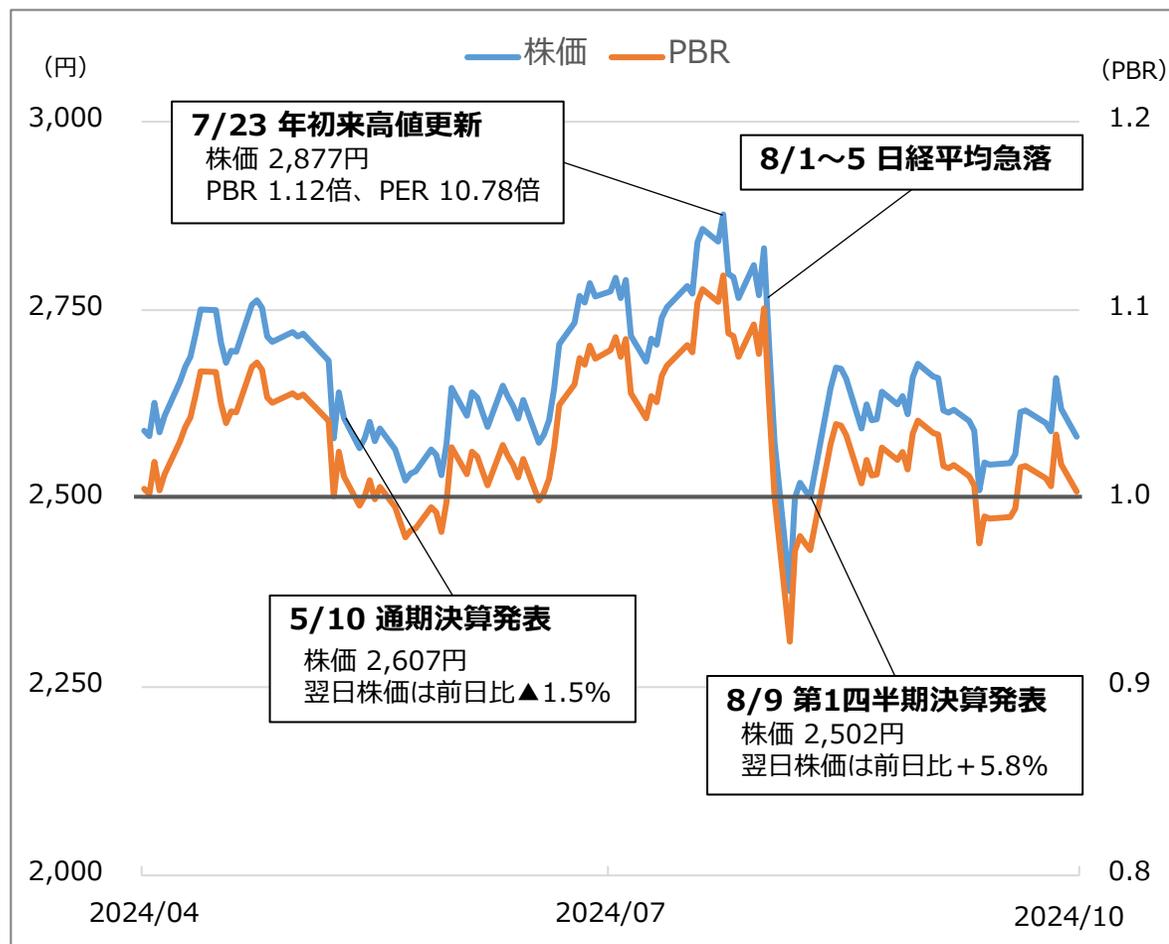
- 政策保有株式の縮減と株価下落により投資有価証券が22億円減少
- 前期末は休日だったため売掛金、買掛金が通常より多く計上
中間期末ではそれらが解消

単位：百万円



資本市場からの期待と信頼獲得に向けた施策が必要

当社株価とPBRの推移



- 通期決算発表後、株価はやや低水準で推移
- 7月に年初来高値を更新も、直後に日本市場全体で株価が急落
- 1Q決算発表後にやや持ち直したが伸びを欠く

	株価	PBR	PER
2024/04/01	2,590円	1.01倍	9.71倍
2024/09/30	2,582円	1.00倍	9.68倍

**当社の資本収益性（予想ROE10.4%）に対し
株価はまだ割安
引き続き経営の強化と対話の充実に取り組む**

※PERは2024年度期初予想の一株当たり当期純利益に基づき算出

製品群を軸とした事業別ROICを算出

当社の事業構成

- コア事業 = 食品、改良剤、ヘルスケア
- 経営管理上は製品群を軸に事業を細分化
⇒ **事業別ROICを算出**
- 決算セグメントはマーケットベースのため
複数事業にまたがる

今後の方針

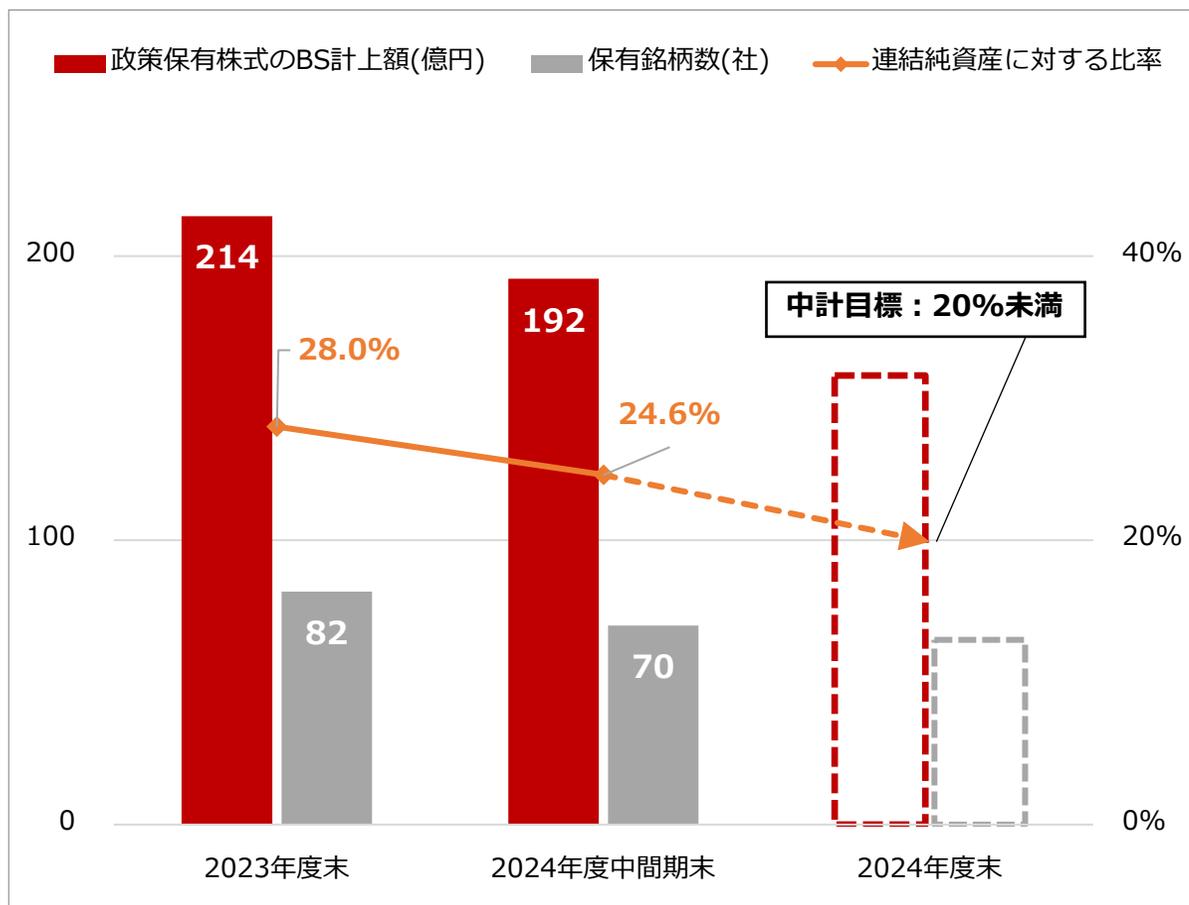
- 各事業のシナジーも考慮しながら
ROICを経営の強化に活用
- ROICの低い事業はその要因を分析し、
改善策を講じる

主な製品群と決算セグメント



目標達成に向けて引き続き縮減を進める

政策保有株式の保有状況



- 2024年度上期の売却実績は約8億円（14銘柄、一部売却含む）
- 株価の下落もあり、政策保有株式BS計上額は前期末から22億円減少
- 純資産比率20%未満の目標達成に向けて下期は縮減を加速

**20%未満は通過点
来期以降も見直しは継続**

1. 2024年度 第2四半期（中間期）業績

2. 2024年度 業績見通し

- **通期業績、年間配当は変更せず**
- **上期業績は上振れも、下期の事業環境は厳しさを増す見通し**
- **国産わかめなどの原材料価格や包材費、エネルギー費、人件費、物流費などの上昇が利益に影響**
- **海外では海上物流の混乱が長期化**

当期純利益以外は通期予想に対する進捗率50%超

単位：百万円

	2024年度 中間期	2024年度 通期予想	進捗率	2023年度 実績	前期比 増減率
売上高	47,149	92,500	51.0%	91,484	+1.1%
営業利益	4,626	8,500	54.4%	9,371	▲9.3%
営業利益率	9.8%	9.2%		10.2%	▲1.0pt
経常利益	4,786	9,000	53.2%	10,296	▲12.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,255	8,100	40.2%	8,755	▲7.5%
ROE	-	10.4%		11.8%	▲1.4pt

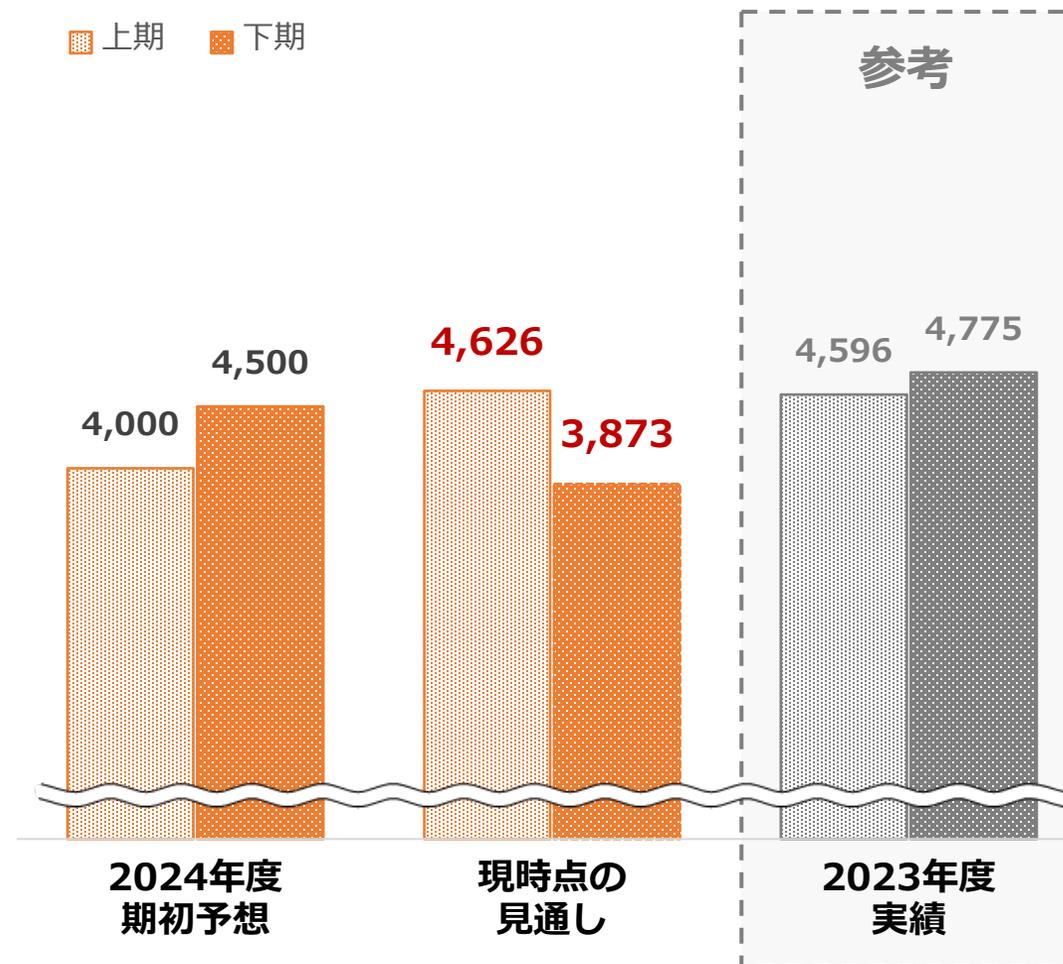
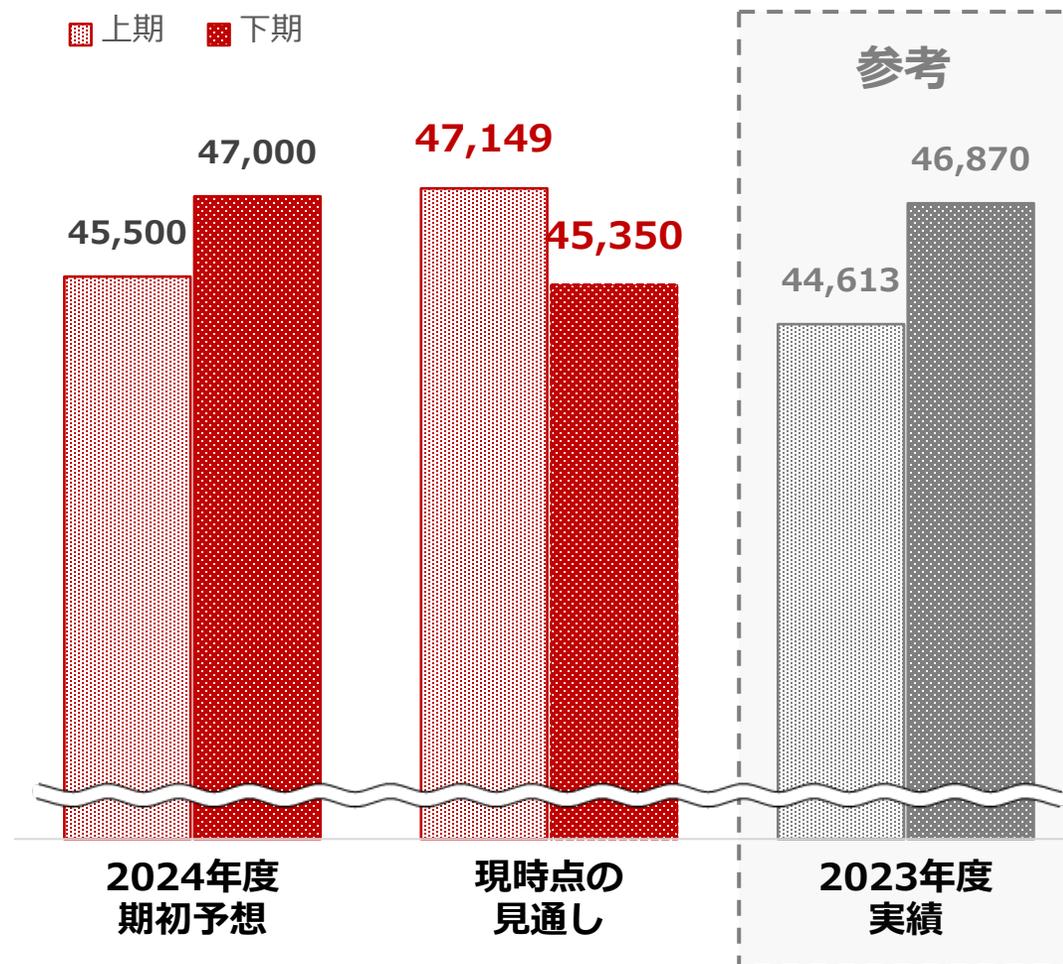
- 国内では生活防衛意識の高まり、海外では海上物流の混乱などが販売に影響
- 期初予想に織り込んでいなかった国産わかめの価格高騰に加え、油脂や脂肪酸、ビタミン、調味料、色素などの原材料価格も想定より上昇基調
- 下期は政策保有株式の縮減を加速し、投資有価証券売却益の計上を見込む

上期／下期のバランスが当初の想定から逆転

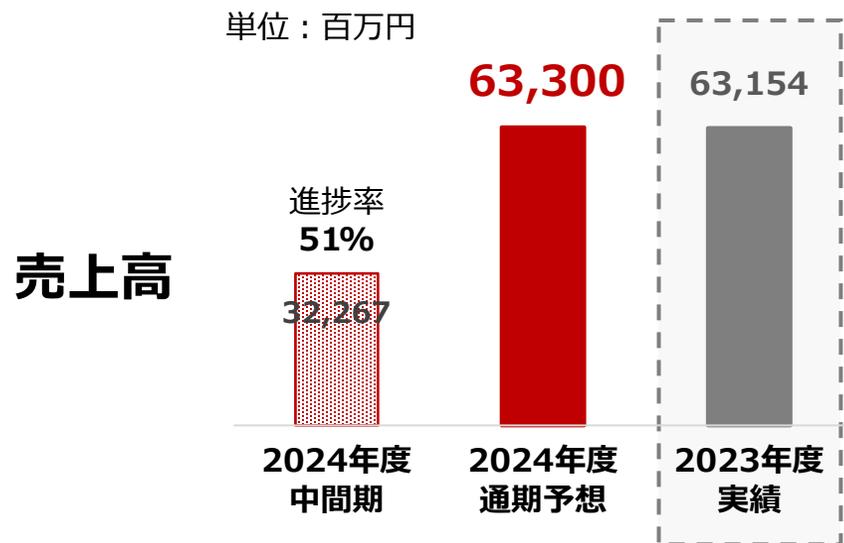
売上高

営業利益

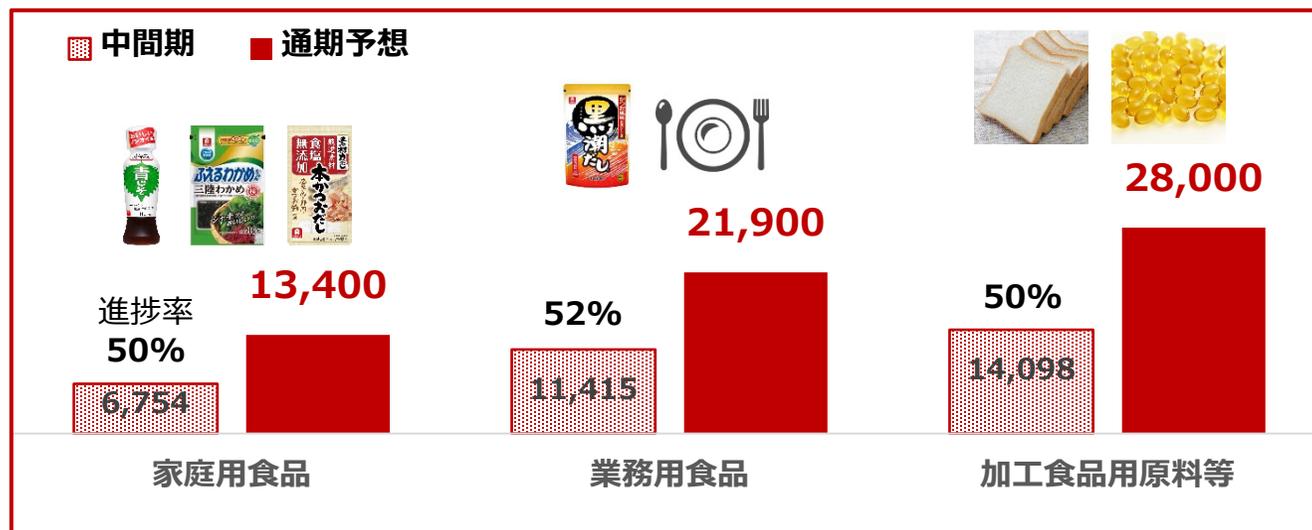
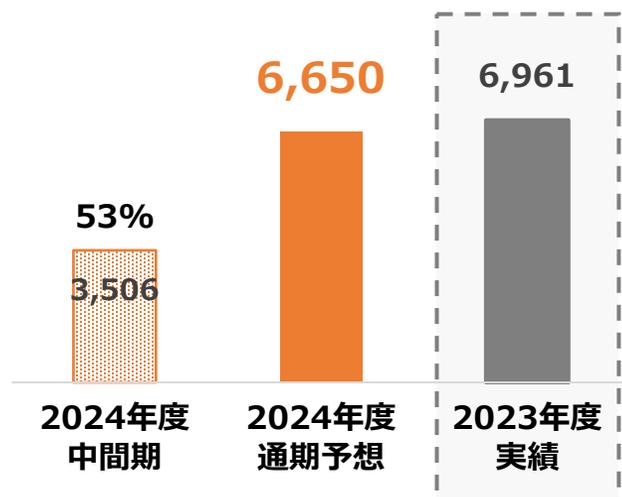
単位：百万円



価格改定などによる数量への影響が懸念材料



営業利益



- 原材料価格の上昇に対し、必要な価格改定を実施
- 家庭用食品は新商品群の市場定着を狙う
- 業務用食品は低採算品の改善と並行し新規提案にも注力
- 加工食品用原料等は食品用改良剤の実績拡大を図る
ヘルスケア分野では機能性表示食品制度の改定に対応

「新商品グランプリ 2024秋冬」 総合グランプリ、加工食品部門第1位

(主催：株式会社日本アクセス)



【受賞商品】

割るだけスープ ホタテチャウダー
(2024年8月発売)

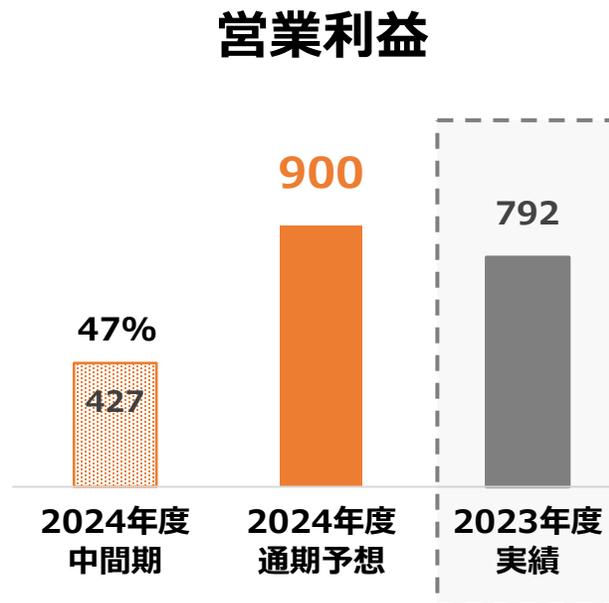
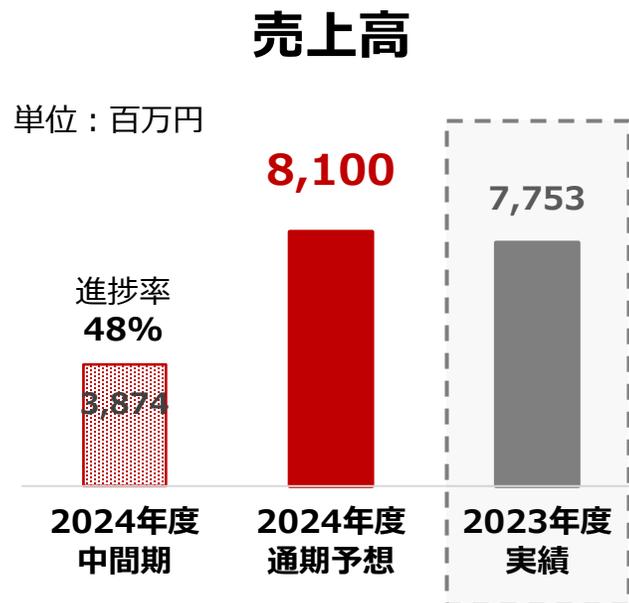
- お湯や水、ミルクなどで割って飲む液体濃縮スープ
- 液体なのでダマにならず、量、濃さ、温度の調整も自由
- 国内トップシェアのホタテエキスをふんだんに使用

機能性食品用原料「クロセチン」 採用拡大



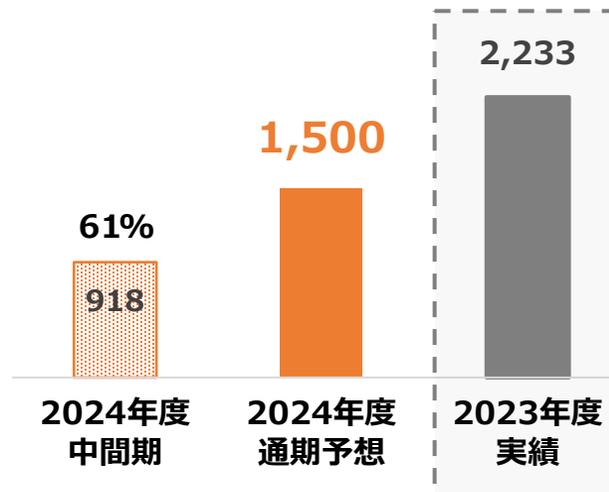
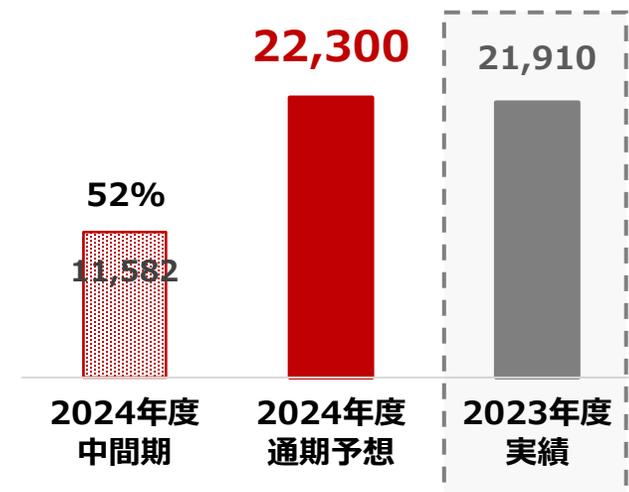
- 健康食品に加え、一般加工食品にも採用が拡大
- 睡眠関連市場の拡大が追い風
- クロセチンの安定供給体制の構築を図りつつ次の柱となる機能性成分の開発も進める

国内化成品 その他事業

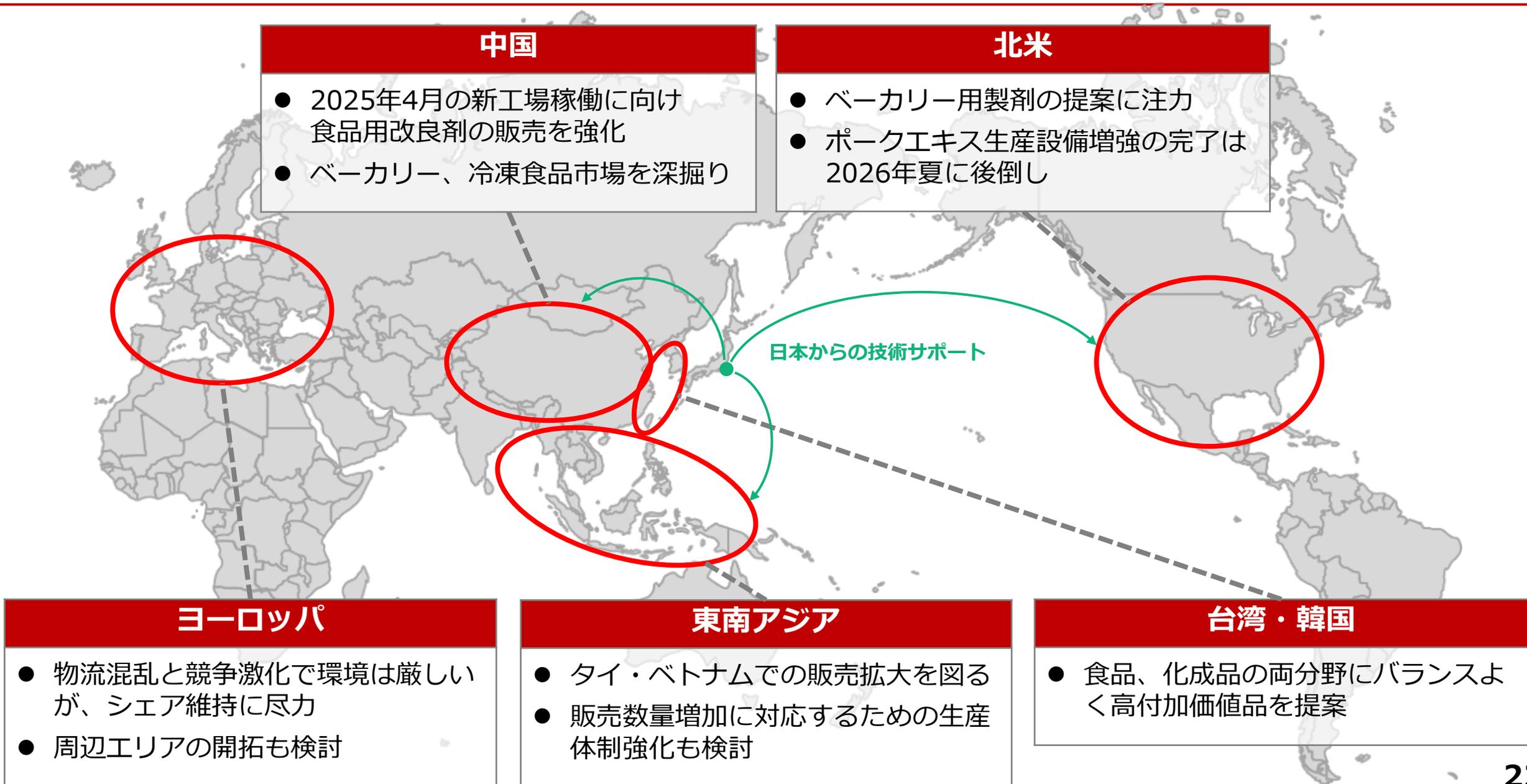


- 底を脱した一部業界の回復需要を確実に取り込む
- 原料動向に応じた価格の適正化と並行し、人件費等のコスト上昇分の転嫁を進める

海外事業



- 物流の混乱を意識しつつ販売数量の拡大を図る
- 海上運賃の高騰や一部市場での価格競争激化が利益を圧迫



タイ・ベトナムに販売子会社を設立 (2025年1月予定)



東南アジア・南アジア・オセアニア地域は
シンガポールの子会社が管轄

3つの販売会社で東南アジア市場を深掘り

- 迅速かつきめ細かな顧客対応
- スムーズな法規制対応

提案力向上
ビジネスサイクル加速

タイ



- 成熟市場
- 市場ニーズが多様化・高度化

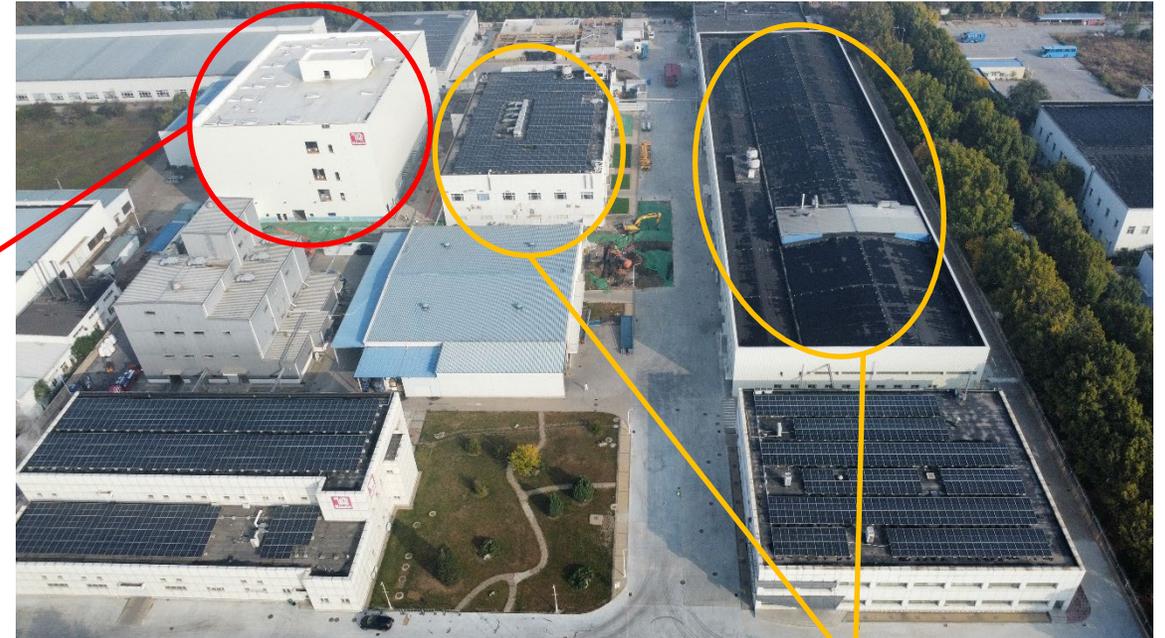
ベトナム



- 成長市場
- 経済成長に伴い市場拡大見込み

天津理研維他食品 新工場の建屋はほぼ完成

食品用改良剤 新工場



▲天津理研維他食品有限公司 全景

食品用改良剤 既存工場

⇒一部設備は新工場完成後に稼働停止

概要

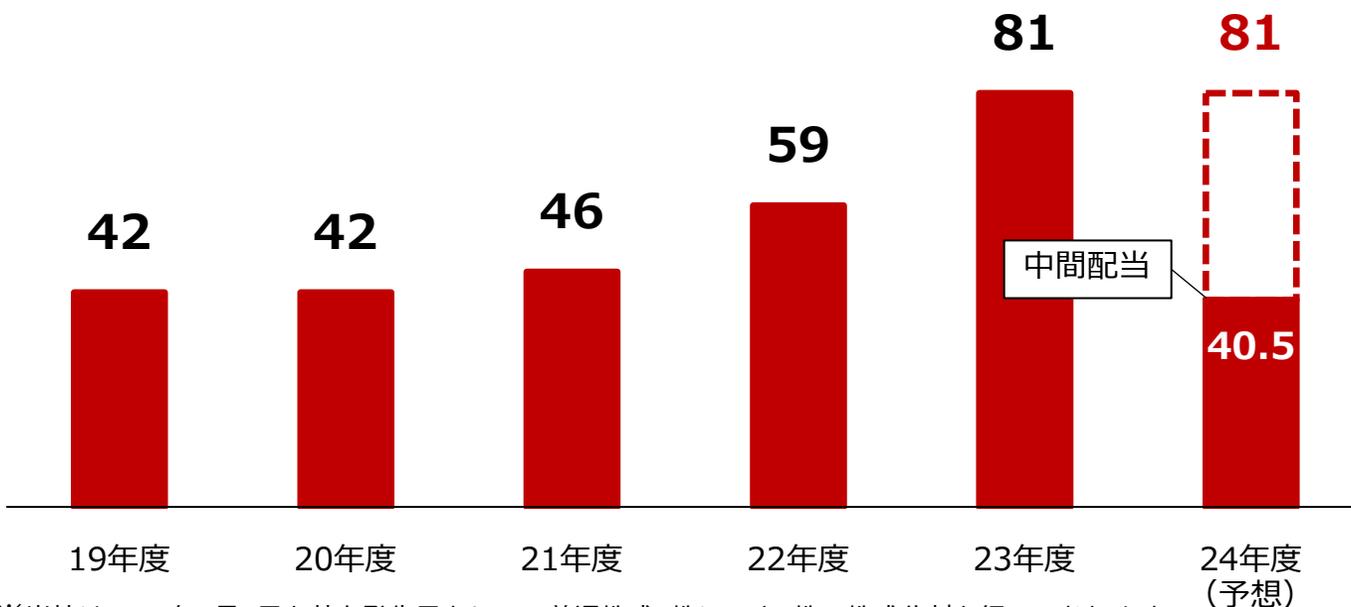
建築面積	約2,600㎡
最大生産能力	年間15,600t (液体9,600t、粉体6,000t)
稼働開始	2025年4月 (予定)

既存工場と合わせ、2028年までに
現在の **約2倍**※ の生産を目指す

※年間19,000t

中間配当、通期配当予想は変更無し

1株当たり年間配当金(円)



下期に政策保有株式の縮減に伴う
投資有価証券売却益を一定程度見込む

	2024年度		進捗率
	中間期	通期予想	
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,255	8,100	40.2%
配当金総額(百万円)	1,237	2,475	50.0%
配当性向	-	30.6%	-

※当社は2020年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
上記グラフ中の1株当たり年間配当金は、株式分割後の水準で記載しています。

<配当方針>

経営環境、業績、財務状況、株主還元性向、経営基盤強化のための内部留保等を総合的に勘案しながら、**連結配当性向30%以上**を目安に安定的な配当を継続して実施

8つのマテリアリティを特定



マテリアリティ

- 研究開発による価値の創出
- 安全で安心な製品の提供
- 健康と豊かな食生活への貢献
- 気候変動への対応
- サーキュラーエコノミー(循環経済)への移行
- レジリエントなサプライチェーンの構築
- ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- 安全で健康的な職場環境の整備

背景

2019年 CSR活動の重点テーマ(マテリアリティ)を特定

2024年 経営上の重点課題として見直し

**持続可能な社会を
スペシャリティな製品とサービスで支え、
成長する会社になる**



理研ビタミン株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は今後さまざまな要因により、大きく異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ先

経営企画部 広報・I R室 井上・清水

T E L : 03-5362-1315

補足資料

純利益の減少などにより営業CFは18億円減少

単位：百万円

	2023年度 中間期	2024年度 中間期	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,649	2,836	▲1,813
税金等調整前中間純利益	5,181	4,507	▲673
投資有価証券売却損益	-	▲550	▲550
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲729	▲828	▲99
有形固定資産の取得による支出	▲754	▲2,166	▲1,412
投資有価証券の売却による収入	-	789	+789
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,673	▲2,984	▲310
配当金の支払額	▲1,188	▲1,538	▲349
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,490	19,632	+1,142

2024年度
中間期
FCF 2,007

2024年度第2四半期（中間期）セグメント別業績

単位：百万円

		2023年度 中間期	2024年度 中間期	前年同期比	
				増減額	増減率
国内食品事業	売上高	31,082	32,267	+1,184	+3.8%
	営業利益	3,575	3,506	▲68	▲1.9%
	営業利益率	11.5%	10.9%	▲0.6pt	
家庭用食品	売上高	6,606	6,754	+148	+2.2%
業務用食品	売上高	10,639	11,415	+775	+7.3%
加工食品用原料等	売上高	13,837	14,098	+260	+1.9%
国内化成品その他事業	売上高	3,771	3,874	+102	+2.7%
	営業利益	342	427	+85	+25.0%
	営業利益率	9.1%	11.0%	+1.9pt	
海外事業	売上高	10,423	11,582	+1,158	+11.1%
	営業利益	984	918	▲65	▲6.6%
	営業利益率	9.4%	7.9%	▲1.5pt	

2024年度通期 セグメント別業績予想

単位：百万円

		2023年度 通期	2024年度 通期	前期比	
				増減額	増減率
国内食品事業	売上高	63,154	63,300	+145	+0.2%
	営業利益	6,961	6,650	▲311	▲4.5%
	営業利益率	11.0%	10.5%	▲0.5Pt	
家庭用食品	売上高	13,138	13,400	+261	+2.0%
業務用食品	売上高	21,887	21,900	+12	+0.1%
加工食品用原料等	売上高	28,128	28,000	▲128	▲0.5%
国内化成品その他事業	売上高	7,753	8,100	+346	+4.5%
	営業利益	792	900	+107	+13.6%
	営業利益率	10.2%	11.1%	+0.9pt	
海外事業	売上高	21,910	22,300	+389	+1.8%
	営業利益	2,233	1,500	▲733	▲32.8%
	営業利益率	10.2%	6.7%	▲3.5pt	

(百万円)	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 予想
売上高	85,603	88,072	87,181	89,515	89,024	82,974	77,722	79,231	88,750	91,484	92,500
前期比増減率	0.2%	2.9%	▲ 1.0%	2.7%	▲ 0.5%	▲ 6.8%	▲ 6.3%	1.9%	12.0%	3.1%	1.1%
営業利益	4,610	6,007	6,820	5,424	4,580	5,307	1,367	5,840	7,158	9,371	8,500
前期比増減率	▲ 8.3%	30.3%	13.5%	▲ 20.5%	▲ 15.6%	15.9%	▲ 74.2%	327.2%	22.6%	30.9%	▲ 9.3%
売上高営業利益率	5.4%	6.8%	7.8%	6.1%	5.1%	6.4%	1.8%	7.4%	8.1%	10.2%	9.2%
経常利益	4,645	5,321	6,248	4,587	4,388	5,045	1,652	6,182	7,723	10,296	9,000
売上高経常利益率	5.4%	6.0%	7.2%	5.1%	4.9%	6.1%	2.1%	7.8%	8.7%	11.3%	9.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,755	4,107	4,089	4,800	2,623	▲ 8,933	▲ 1,618	21,582	6,414	8,755	8,100
売上高当期純利益率	4.4%	4.7%	4.7%	5.4%	2.9%	—	—	27.2%	7.2%	9.6%	8.8%
総資産額	114,049	109,030	109,342	110,994	109,706	101,853	106,535	102,660	105,223	118,776	
純資産額	76,036	74,341	53,611	58,919	59,229	46,789	46,674	66,539	71,371	76,643	
自己資本比率	66.1%	67.7%	48.5%	52.7%	53.5%	45.5%	43.3%	64.8%	67.8%	64.5%	
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,941	8,377	8,126	5,753	6,689	5,850	7,660	6,823	7,835	10,451	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 5,690	▲ 6,389	▲ 3,080	▲ 1,617	▲ 3,388	▲ 4,282	▲ 2,322	▲ 3,661	▲ 2,034	▲ 554	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,222	▲ 3,140	▲ 1,881	▲ 5,869	▲ 2,490	▲ 3,051	▲ 180	▲ 7,565	▲ 4,578	▲ 7,084	
ROE	5.3%	5.5%	6.4%	8.6%	4.5%	▲ 17.0%	▲ 3.5%	38.3%	9.3%	11.8%	10.4%

*2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用しています

セグメント別四半期累計業績推移

(百万円)		2023年度				2024年度				2024年度 通期予想
		1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	
売上高	国内食品事業	15,626	31,082	48,129	63,154	16,441	32,267			63,300
	家庭用食品	3,403	6,606	10,058	13,138	3,397	6,754			13,400
	業務用食品	5,397	10,639	16,532	21,887	5,946	11,415			21,900
	加工食品用原料等	6,825	13,837	21,538	28,128	7,097	14,098			28,000
	国内化成品その他事業	1,879	3,771	5,857	7,753	1,913	3,874			8,100
	海外事業	5,052	10,423	16,081	21,910	5,548	11,582			22,300
	調整額 (セグメント間消去)	▲ 368	▲ 664	▲ 1,010	▲ 1,334	▲ 277	▲ 574			▲ 1,200
	連結合計	22,189	44,613	69,058	91,484	23,626	47,149			92,500
営業利益	国内食品事業	1,968	3,575	5,823	6,961	1,910	3,506			6,650
	国内化成品その他事業	188	342	557	792	222	427			900
	海外事業	479	984	1,723	2,233	388	918			1,500
	調整額 (セグメント間消去)	▲ 160	▲ 305	▲ 443	▲ 616	0	▲ 226			▲ 550
		連結合計	2,476	4,596	7,660	9,371	2,522	4,626		
経常利益		2,998	5,220	8,396	10,296	2,927	4,786			9,000
親会社株主に帰属する四半期/当期純利益		2,068	3,667	6,080	8,755	2,370	3,255			8,100

セグメント別四半期業績推移

(百万円)		2023年度				2024年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	国内食品事業	15,626	15,456	17,046	15,024	16,441	15,825		
	家庭用食品	3,403	3,202	3,452	3,079	3,397	3,356		
	業務用食品	5,397	5,242	5,892	5,355	5,946	5,468		
	加工食品用原料等	6,825	7,012	7,701	6,589	7,097	7,001		
	国内化成品その他事業	1,879	1,892	2,086	1,895	1,913	1,960		
	海外事業	5,052	5,370	5,657	5,829	5,548	6,033		
	調整額（セグメント間消去）	▲ 368	▲ 295	▲ 345	▲ 324	▲ 277	▲ 296		
	連結合計	22,189	22,424	24,445	22,425	23,626	23,523		
営業利益	国内食品事業	1,968	1,607	2,248	1,138	1,910	1,596		
	国内化成品その他事業	188	153	215	235	222	205		
	海外事業	479	504	739	509	388	530		
	調整額（セグメント間消去）	▲ 160	▲ 145	▲ 137	▲ 173	0	▲ 227		
	連結合計	2,476	2,119	3,064	1,710	2,522	2,104		
経常利益		2,998	2,222	3,175	1,900	2,927	1,859		
親会社株主に帰属する四半期純利益		2,068	1,598	2,413	2,675	2,370	884		